



天を造り出し、  
これを引き延べ、  
地とその産物を押し広め、  
その上の民に息を与え、  
この上を歩む者に  
霊を授けた創造主は  
こう仰せられる。

わたし、主は、  
義をもってあなたを召し、  
あなたの手を握り、  
あなたを見守り、  
あなたを民の契約とし、  
国々の光とする。  
イザヤ四十二章5、6節

## 主は大いなる方。大いに賛美されるべき方。その偉大さを測り知ることができません。 詩篇 145 篇 3 節



クリエーションミュージアムにて、特撮にチャレンジ♪

### 創世記探訪ツアー報告①

#### ～創造博物館～ 宇佐神実

6月26日から7月4日にかけて、ジェネシスジャパンの創世記探訪ツアーを開催しました。その様子を何回かに分けてご報告します。第一回目は、最初の訪問地、アメリカのケンタッキー州にある創造博物館（クリエーション・ミュージアム）についてレポートします。

6月27日早朝、6時少し過ぎに博物館に近いオハイオ州シンシナチ国際空港

に降り立ちました。博物館の開館（10時）まで間があるので、先に宿泊先のホテル、カントリーインへ行きました。案内をしていただくマーシュさんご夫妻との待ち合わせが9時でしたので、それまでゆっくりと朝食タイム。ここには、ワッフル焼き器があり、焼きたてのワッフルをセルフサービスで食べられます。また、パンやシリアル、コーヒーやジュースとアメリカの典型的な朝食をいただきました。今回のツアーの朝食では、このホテルでの朝食が一

番よかったように思います。

マーシュさんご夫妻が迎えに来られ、一緒に博物館に向かいました。博物館の庭園は、時間に関係なく誰でも入ることができ、憩いの一時を過ごせるようになっています。開館までの40分くらいの間、先にこの庭園を散策しました。

ここにはさまざまな植物が植えられており、創造主が種類にしたがって造られた植物を通して主のすばらしさを感じる事が出来るようになっています。中には和風庭園もいつらえてあり、



ガーデン/クリエーションミュージアム

日本人にとっても居心地のよい場所です。もしかするとアダムやエバもエデンの園の中に自分たちの庭園を造っていたかもしれませんね。また、ガチョウやクジャクがさわれるくらい間近にやってきて、私たちを楽しませてくれました。また、翌日も博物館に来ましたが、この時は、ラクダ乗りを楽しんだり、シマウマとウマの間にできた子供のゾースや、シマウマとロバの間にできた子供のゾンキーを見たりと、主が造られた動物とふれあうことができました。

この博物館は、池上彰の番組、「日本人の知らないアメリカ」で紹介されたこともある聖書に基づく人類史と自然史の博物館です。2006年に開館し、毎年何万人もの来場者が訪れる非常に人気のある博物館です。中の展示は、創世記1章から11章までの人類の歴史、天地創造・裁きと墮落・カインの殺人・ノアの洪水・バベルの塔などや、宇宙の始まりの映画、いけにえの意味とイエス様の十字架の意味の映画など

見所がたくさんあります。特に新しい展示は、進化論者が直立猿人と呼び、人類の祖先に位置づけた「ルーシー」のその後の研究の成果です。

1974年にこの骨が発見されたとき、

研究者たちは、これこそ自分たちが探し求めていた人類の祖先の骨だと信じ、チンパンジーに似た骨盤の形を人間の骨盤に似た形に変形させて復元し、直立猿人の化石が発見されたと発表しました。

しかし、その後さらに研究が進むと、これが樹上生活をするサルと同じ格好に足の指が湾曲していることがわかりました。また、肩の骨は現在生きているサルの仲間とほとんど同一で、手首はナックルウォーク（手をげんこつ状にして歩く）サルとそっくりであることがわかり、手は人の手とは大きく異なり、チンパンジーの手と酷似していました。

ようするに、「ルーシー」はどくをどう見てもサルの仲間だということです。「ルーシー」は進化論を信じる研究者たちが人類の祖先を探し求めるあまり直立猿人とされてしまったのです。また、「ルーシー」の骨を基に復元された顔がいくつも展示して



詳細な研究に基づいて復元されたルーシー/クリエーション・ミュージアム



ルーシーの骨をもとに再現された顔/クリエーションミュージアム

ありました。この「ルーシー」の骨から、ゴリラのようにも、オランウータンのようにも、チンパンジーのようにも、人間の祖先のようにも、復元する事が出来ます。

これは、骨自体から正確な復元は不可能である事を物語っています。



復元する人の想像する外観に復元できるからです。ですから、日本の自然史博物館で人類の祖先の姿として展示されている復元は、「復元者がこのような姿だったと信じる姿」に復元されているのだということを心に留めておく必要があります。

聖書からわかることは、人は最初から人類として創造されたことです。進化論者が人類の祖先と考えた骨のうち、ネアンデルタール人、ピテカントロプス・エレクトスとされる骨は、病気にかかって骨格の形が変形してしまった人類の骨だと考えられますから、これらは本来人間の姿に復元されるべきでしょう。アファール猿人やアフリカヌス猿人などは、実際には種類にしたがって創造されたサル仲間であり、これらは人類の祖先のようではなくサルのように復元されるべきでしょう。

「アファール猿人」と呼ばれ、人類の祖先とされた「ルーシー」はサル

の仲間の化石である事が明らかです。私たちは教科書や科学雑誌で人類の祖先として描かれている絵や、博物館で展示されている人類の祖先の姿の復元を見ると、ついそれが歴史的事実であるかのように感じてしまいます。しかし、それらは絵を描いた人の想像する姿、復元させた人が想像する姿であって、進化論に基づく推測の産物なのです。私たちは聖書から、進化上の人類の祖先がない事、サルはサルとして種類にしたがって造られ、人は人として創造主の形に造られたということを知っています。進化論者は、偶然にサルや人が進化したと考え、自然の力はすばらしいと讃えます。しかし、「ルーシー」の失敗を通して、自然を造り私たちに聖書を与えられた偉大な創造主こそ讃えられるべきお方だと思わされるのです。

聖書と科学カンファレンス（8月）  
参加募集中！ 知人をお誘い下さい！  
バードウォッチング、高原の花の観察、  
聖書と科学のひととき！そして温泉♪

# 創造メガネで見る世界はすばらしい!

ジェネシスジャパンは、創造主と創造のみわざのすばらしさを探求しています。  
そしてわかったことを、講演・セミナー・出版などを通してお伝えしています。



写真/青少年向け創造論セミナー

ジェネシスジャパン会長

## 宇佐神 実

1961年仙台市生まれ。水戸第一聖書バプテスト教会牧師。  
カリフォルニア大学バークレー校文理学部卒、  
米国クリスチャン・ヘリテージ・カレッジ聖書学部卒。  
DVD「人を生かす世界観」「再現された創世記の大激変」  
著書「目からウロコの進化論」訳書「人類の起源」



写真/青少年向け創造論セミナー

## セミナー開催しませんか？

【セミナー内容】子どもから大人まで

「人の祖先はサルなの？それとも・・・」

「恐竜って聖書に出てくるの？」

「地球は生まれて6000年？それとも46億年？」

「日本人もアフリカ人もアダムの子孫なの？」

「ノアの大洪水は本当にエベレスト山を覆ったの？」

「ノアの箱船に関する質問疑問の答え」

「聖書とこの世の世界観はどこが違う？」ほか



ジェネシスジャパンは2012年4月より「一般財団法人ジェネシスジャパン」としてスタートすることになりました。これからもご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。

一般財団法人ジェネシスジャパンは、欧米文化の背景にある聖書の世界観を日本に紹介することを目的とするとともに、その目的に資するため、次の事業を行います。

- (1) 進化論や創造論とその世界観の学術調査、研究及び啓発
- (2) 書籍、映像著作物、関連商品の企画、製作及び販売
- (3) 聖書の世界観に基づく世界史博物館の設置及び運営
- (4) その他前各号に関連する事業

○ 創造論セミナー お問合せ/お申込み

※ 実費にてチラシ等ご用意できます。

tel 029-292-9621 fax 03-6862-8340

info@genesisjapan.com